

鳥類のポックスウイルス感染症



図 1. 肉眼写真。鶏の頭部および鶏冠に青矢印で示す多数の結節状病変が認められます。

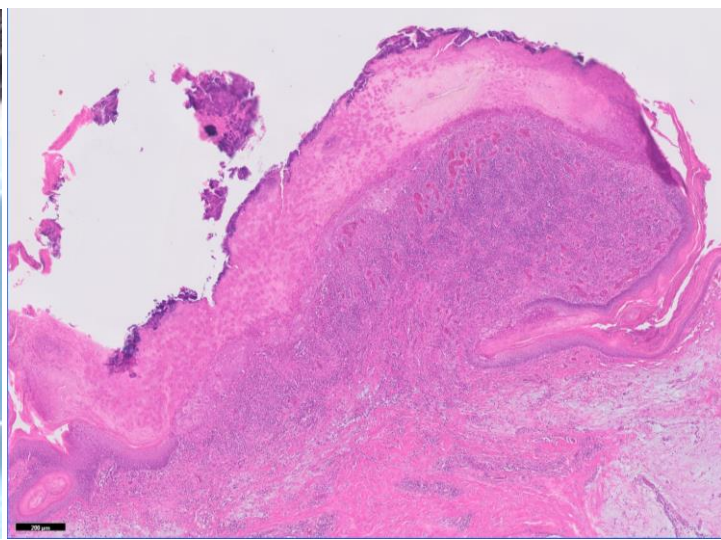


図 2. 組織写真(Bar=200um). 体表の結節は、過形成性の上皮細胞、炎症性細胞浸潤、および痂皮からなります。

ポックスウイルスは様々な動物に感染するDNAウイルスで、鳥類では200種以上の鳥種において感染報告があります。このウイルスは宿主特異性が高く、鳥類のポックスウイルスが他の動物種に感染することはありません。

鳥類のポックスウイルス感染症は、臨床的に皮膚型と粘膜型に大別されます。皮膚型は羽毛の存在しない部位（頭部や足）に図1のような結節を形成し、粘膜型では口腔内～気管粘膜に偽膜を形成します。カナリアでは肺炎を起こすことがあります。感染は、罹患鳥との接触、吸血性昆虫、またはウイルスを含有する羽毛の吸引等によって起こり、野外飼育鳥に多く見られます。

組織学的には、上皮細胞の増殖と壊死、感染細胞における細胞質内封入体（図3）を特徴とします。封入体は組織学的検索で容易に見つけられるため、病理組織検査は有効な診断方法といえます。

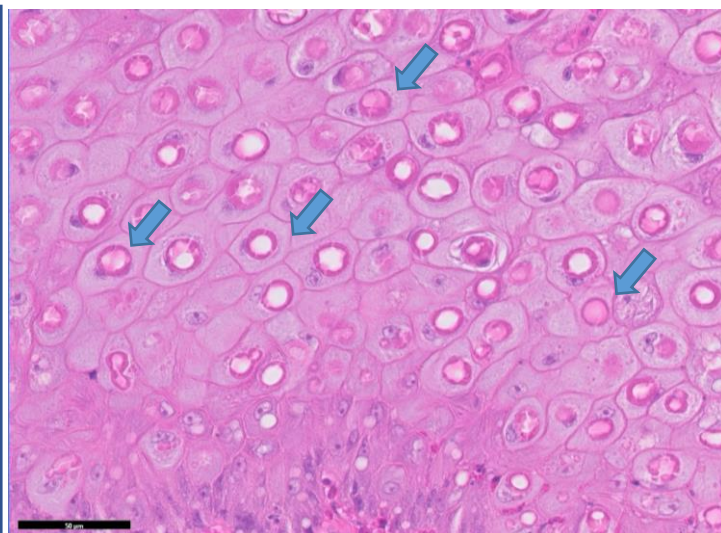


図 3. 組織写真 (Bar=50um). 上皮細胞の風船様変性を認めます。上皮細胞内に青矢印で示す直径8-18umの好酸性細胞質内封入体（ポリリングル小体）が見られます。

診断医からの一言

無断での転用/転載は禁止します。

「今月のエキゾチック症例」のトップバッターを仰せつかりましたので、今回は私の一番好きな「鳥」の疾患をご紹介させていただきました！ポックスウイルス感染は愛玩鳥では稀ですが、粘膜型の病変は呼吸困難を起こすこともあり、野鳥と接触のある個体では呼吸器症状の鑑別診断にも入ります。この疾病は鶏と鶉では届出伝染病に指定されています。それでは、次回をお楽しみに！

参考文献

1. Disease of Poultry, 13th edition. 2013. Wiley-Blackwell.
2. Pathology of Pet and Aviary Birds, 2nd edition. 2015. Wiley-Blackwell.



診断医：平島瑞希
DVM, MS, DACVP,
DJCVF